

RX130 グループ IBIS モデル

1. バージョン Rev 1.0

2. IBIS ファイル

各ファイルの使用条件を下記に示します。

製品グループ	ファイル名	項目	条件		
			TYP	MIN	MAX
RX130 グループ	rx130_512_vcc20_rev2.ibs	VCC	2.0V	1.8V	2.2V
		Tj	25°C	125°C	-40°C
	rx130_512_vcc30_rev2.ibs	VCC	3.0V	2.7V	3.3V
		Tj	25°C	125°C	-40°C
	rx130_512_vcc33_rev2.ibs	VCC	3.3V	3.0V	3.6V
		Tj	25°C	125°C	-40°C
	rx130_512_vcc50_rev2.ibs	VCC	5.0V	4.5V	5.5V
		Tj	25°C	125°C	-40°C

3. 対象デバイス

RX130 グループのパッケージ LFQFP, LQFP, HWQFN 製品が対象です。

パッケージごとに IBIS ファイル中の以下の[Component]を選択してください。

[Component]名	型名	パッケージ
LQFP48	R5F5130***FL	PLQP0048KB-B
LQFP64	R5F5130***FM	PLQP0064KB-C
	R5F5130***FK	PLQP0064GA-A
LQFP80	R5F5130***FN	PLQP0080KB-B
LQFP100	R5F5130***FP	PLQP0100KB-B

HWQFN48	R5F5130***NE	PWQN0048KB-A
---------	--------------	--------------

*は製品仕様を示します。型名の種類は、RX130 グループ ユーザーズマニュアル ハードウェア編を参照してください。

4. 注意事項

I/O モデルの選択

[Pin]セクションの model_name に記載された iobuff1_sel 及び iobuff3_sel は[Model_Selector]に定義された I/O 機能モデルを使用できます。

MCU の設定に合わせて I/O 機能モデルを選択してください。

・ [Model Selector] iobuff1_sel の場合

I/O モデル名	端子区分	入力レベル	駆動能力
pabesld0_sh2_2v_20v	デジタル標準 I/O	CMOS 入力	通常駆動出力設定時
pabesld1_sh2_2v_20v	デジタル標準 I/O	CMOS 入力	高駆動出力設定時

・ [Model Selector] iobuff3_sel の場合

I/O モデル名	端子区分	入力レベル	駆動能力
patlsld0_sh1_2v_20v	5V トレラント I/O	CMOS 入力	通常駆動出力設定時
patlsld1_sh1_2v_20v	5V トレラント I/O	CMOS 入力	高駆動出力設定時
patlsld0_ttl_tv_30v	5V トレラント I/O	TTL 入力(*)	通常駆動出力設定時
patlsld1_ttl_tv_30v	5V トレラント I/O	TTL 入力(*)	高駆動出力設定時

(*) RIIC のレジスタ ICMR3.SMBS ビット= 1 (SMBus 選択) 設定時

5. 改訂履歴

本 readme ファイルの Rev.	発行日	改定内容
1.0	2022.06	初版